

# ベトナム國家圖書館の古醫籍書誌

眞 柳 誠

はじめに

中國周囲の民族・國家は古くから中國の醫學を受容し続け、それを取捨選擇・發展させて自國化してきた。この過程と様相の概要は、各國に現存する古醫籍の調査と内容分析からある程度の理解が可能だろう。それらの中には臨牀上・文化上・歴史上・書誌學上など、多方面において貴重性が認められる書も少なくない。だが多くは利用も研究もされることなく、各國の書庫奥深く眠り續けているのが現状と云っていい。それゆえ、かつて東アジアにおいて流通し、相互に影響を及ぼしていたこれら古醫籍個々の書誌調査による流通経緯の研究は、東アジアの醫療文化史を検討する上でも大きな意味がある。

そこで各國・各地域の所藏機關にて醫藥古典籍を手に取り、實地に調査する研究を二〇〇〇年八月より本格的に開始した。ベトナムについては二〇〇一年九月三日〜十七日および二〇〇四年九月十日〜十五日の期間ハノイに滞在し、主要な二藏書機關のうち國家圖書館の主な古醫籍について調査をほぼ完了させることができた。残るベトナム社會科學研究センター所屬漢喃研究院の藏書も近年中に調

査を完了させる予定だが、それ以前に國家圖書館の調査記録について諸賢の批判を仰ぐことも必要と考え、報告することにした。

さて當國家圖書館 (Thu vien Quoc gia Viet nam) はベトナム文化情報省の所屬で、ハノイの 31 Trang Thi にある。代表電話は 4-8248051、ファックスは 4-8253357、メールは info@nlv.gov.vn。ウェブページは <http://www.nlv.gov.vn/> で、ベトナム語と英語で閲覧できる。各月第二水曜日と祝日に休館する以外、月曜から日曜まで毎日、朝八時から夜八時 (善本室は夜七時) まで開館しており、とても利用しやすい。

藏書は正面建物一階のパソコンで検索できるが、そのデータベースおよび既刊の目録に古典籍は収められていないため、カードで調べる。建物一階左側中間あたりのカードケースに Han Non (漢字と喃字 (日本の國字と同類のベトナム固有漢字) の文獻、と書いてあるのが古典籍部分。著者別・書名別が各々二ケースあり、藏書数は五二〇五冊とのこと。カードには漢字で書名・著者名も書いてあるのので、閲覧希望書の書名と架藏番號を調べる。またこの付近に出ているテーブルで、一〇枚で五〇〇ドン (日本の四圓ほど) の閲覧申請用紙を買う必要がある。



正面階段を上がった二階に善本閲覧室がある。閲覧にはベトナム政府機関の紹介が必要とのことだったが、あまり関係ない様子。どちらかというと、茨城大学図書館長から当図書館長宛に書いてもらった英文紹介状が有効に思えた。また最初はパスポートの提示が必要となる。閲覧は一回に三書までで、一書につき一枚の閲覧申請用紙に名前・パスポート番号・所属・閲覧書名・架蔵番號・サインの順に記入する。これを受付の箱に入れると、十分もたずに原本がでてくる。受付担当者も親切で、佛語か英語でなんとか通じる。

調査はカードで醫家類に分類される書について實施したが、それ以外でも明らかな醫藥書、あるいは醫藥關聯記述の多い書に氣づいた場合は調査した。なお古籍は基本的に漢字と喃字で書かれており、その多くは漢喃研究院に收藏されているが、ほとんどは寫本である。一方、當國家圖書館の藏書には刊本が多い。したがって閲覧調査では刊本および中國關聯書を優先させ、寫本のベトナム固有書は漢喃研究院での調査にゆずった。

以下に當訪書記録の凡例を記すが、本調査にあたり多くの古典籍原本を閲覧させていただいたベトナム國家圖書館および館員諸氏のご厚意に深甚の謝意を申し上げる。

#### 凡例

一 當訪書誌はベトナム社會主義共和國ハノイ市・ベトナム國家圖書館所藏の古典籍から、ベトナム人と中國人が著した醫藥に關聯

する書を調査した記録である。

二 漢字は特殊な文字を除き、J I Sコード漢字の範囲内で正字に統一した。このため、一部の漢字は必ずしも正確な正字ではない。

三 各書のカードは内容別に項目分類されていないので、當記録では眞柳が假に【鍼灸】のように分類した。同一項目内ではおおむね架藏番號順に著録したが、同一や同類の書名は前後に一括した。また中國人著述の漢籍は各項目の後方に配した。

四 各書の冒頭に架藏番號、ついで(一)内にカード著録の著者名・書名等を記した。なお古典籍の架藏番號は全てに「R」が付くが、本調査記録では繁を避けて省略した。また「一九〇二」のように記されるのは、當圖書館が判断した序跋や刊行・筆寫の年代である。原本調査を割愛した書は四だけを記し、以下五の内容は當記録にない。

五 四の後、改行して始まる文は眞柳の調査部分で、カード記載に補足すべき書誌事項を主に以下の内容と順次で記録した。

冊數・葉數、刊寫の別、裝幀法、表紙の質、書の寸法、帙の有無等、外題・書根の記載等の外観。

次に書物の各葉を順に開いて分かる情報として、封面、序文の年・作者・タイトル・葉數、目錄等の葉數、刊記等、本文巻頭に記載の内題・著編注者等の題署、本文の卷數、跋文の年・作者・タイトル・葉數、刊記・木記・奥附等。

次に全體の書誌情報として、料紙の種類、補修の様子、界の有

無、匡郭・版心魚尾の種類、版心内の文字、卷一冒頭半葉匡郭の内側寸法、行數と毎行の字詰め、小字の字詰め等。

次に全書に捺された藏書印記を記し、さらに當該書全體の蟲損状態等の現状を記した。

最後に改行し、特徴的な内容、適切な書誌、眞柳の私見等を記した。

#### 【鍼灸】

374 (鍼灸法總要 [一八二七])

一冊、寫本、後補ベトナム包背四目鍼眼裝。後補肌色中手表紙の中に、澁引き焦げ茶中手原表紙を存し、書高二五・四×幅一四・四cm。帙なし。外題なし。雜紙四葉あつて「嗣德三十三年(一八八〇)歲時庚辰二月云々」、第五葉に「述前賢之妙法／針灸法總要／訓後學之通知」、ウラに「明命捌年(一八二七)柒月貳拾陸日奉寫／右弟子(以下破り抜く)撰」を記す。序・目錄なし。内題・編著者名なく、本文は漢文で五四葉、おおむね經穴論・經脈論・治療の三篇からなる。跋なし。書末に「甲辰年三月云々」「嗣德參拾壹年(二八七八)歲時月月之山」等の識語。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黃變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、一〇行・行約二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN/QUOC GIA」(國家圖書館)の藏印記。全書に朱點・朱引きあり。蟲損なく、やや破損し、版心

切れ。

當本は一八二七年成立のベトナム書で、おそらく一八八〇年の筆寫。

【診法】

474 (脈法)

620 (究息脈)

645 (脈部位解)

647 (脈法秘傳)

673 (洪錦居士著、脈訣輯要)

1698 (二十七脈體狀歌)

1834 (脈頭歌括)

1897 (慎齋著、慎齋阮先生醫寶家書「二八六〇」)

一冊、寫本、後補ベトナム四目鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、

書高二六・九×幅十五・四cm。帙なし。外題なし。序・目録なし。書頭に「脈法精微意會心思爲醫最大關鍵」と記し、以下本文は漢文で、喃字は見えない。脈論・臟腑論に續き、傷寒・雜病・中風等の診断を問答で論じる。跋なく、書末に「庚申嗣德拾參年（二八六〇）梅月吉日上流／慎齋阮先生醫寶家書」の識語。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、八行・行約二四字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損ないが、疲れ本。

ベトナム書で、一九世紀の筆寫だろう。

58 (診家正眼)

一冊、寫本、後補ベトナム包背裝。灰綠色厚手表紙、書高二三・〇×幅一三・八cm。帙なし。外題なし。頭五葉は處方等の書き込み紙。康熙丁未年の尤侗「合鑄三書序」四葉、無記年の尤乘「増補診家正眼序」二葉、無記年の董序三葉、凡例三葉、目錄三葉。卷首に「診家正眼卷上／雲間李中 梓士 材父著述／門人尤 乘生洲父増補」と題し、以下本文二卷一冊。書末に難經脈義を附録する。漢文書。跋なし、書末に雜記七葉を付す。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、七〜八行・行一五〜一七字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損なし。

本書は漢籍で明・李中梓の著。當本は一九世紀のベトナム筆寫だ

ろう。

【醫論】

1963 (醫學說疑 [二八八五])

一冊、寫本、ベトナム四目鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二六・五×幅一五・八cm。帙なし。外題なし。扉に「同慶元年（一八八五）孟秋月之七日起編／醫學說疑／在養蒙堂正本」を墨書、附諸法備考五葉、嗣德甲寅年（一八五四）の英川居士裴叔貞恬齋「醫學說疑序」一葉、無記年の裴惟忠叔貞「小引」二葉、目錄なし。巻首に「醫學說疑卷之首」の内題、以下本文は存卷一・三〇五・七。跋・識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、八行・行約二五字、小字雙行。不詳舊印および四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引きがあるが、書き込み等なし。僅かに蟲損と破損あり。

本書は醫學の基礎理論を問答式の漢文で論説する醫論書で、著者はベトナムの裴叔貞か。圖も多い精寫本で、内容は高度。おそらく一八八五年の筆寫。

23 (陳直著、石室秘錄)

一冊七八葉、寫本、ベトナム四目鍼眼原裝。澁引き焦げ茶厚手表紙、書高二七・三×幅一五・八cm。帙なし。背・小口すべてに澁を

塗る。外題なく、書根・頭に「石室」を墨書。扉に紫筆で「啓定六年（一九二二）辛酉壯月穀月書於學舍／阮藏春敬書」の識語（この筆で目次に書き入れるので、元の筆寫より後代）。序なく、目錄二葉。巻首に「石室秘錄摘要」の内題、以下に「原板陳達公敬習 潘志齋手稿」の書き入れ。本文は漢文で、正治法から奇症まで。跋なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、色變なし。無界、無邊、無魚尾、版心に「石室 篇名 葉次」を寫す。每半葉、一二行・行約三五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損・破損なし。

『石室秘錄』は清・陳士鐸の著。當本はその版本からベトナムの潘志齋が摘要したもので、恐らく一九世紀末の筆寫。

431 (醫無閭、趙氏醫貫)

原ベトナム包背裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二七・三×幅一五・八cm。帙なし。外題なく、書根・天に「醫貫 上」を墨書。第一扉に四周雙邊で「陳氏家寶」の墨印記。第二扉に匡郭なしで「太醫院增補圖註／趙氏醫貫／附 殷九峯經驗／宦邸千金異 方／三多齋梓行」の封面。目錄二葉の頭に「醫貫目錄／醫無閭子著／呂山人醫評」と題し、全六卷本。圖二葉、無記年の薛三省「醫無閭子醫貫序」二葉、無記年の無名氏「敘」一葉。巻首に「醫貫卷之壹」の内題、以下本文は漢文で卷二まで存。識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、色變なし。無界、無邊、無魚尾、版心に「卷幾 篇名 葉次」を寫す。每半葉、八行・行二四字、小字雙行。四周雙邊で

「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、文字訂正、書き入れあり。表紙は激しく蟲損するが、内側の三葉で止まる。紙魚はベトナム楮紙が苦手か。

本書は明・趙獻可（無閩子）の著。當本には『景岳全書』等を引く呂留良（一六二九〜八三）の評がある。呂留良評本は清初刊本が中国科学院圖書館にあるが、「三多齋梓行」の封面ある中國版がなければ、當本はベトナム版から轉寫の可能性もある。當本自體は一九世紀の筆寫だろう。

## 【傷寒】

291 (傷寒集解國音歌)

一冊七九葉、寫本、後補ベトナム包背裝。灰色厚手表紙、書高二五・三×幅一五・五cm。帙なし。外題は表紙にベトナム文字を赤ボールペンで書く。書根・頭に「醫學解音」を墨書。序・目錄なし。卷首に「傷寒集解國音歌」の内題、以下本文は漢喃文。上段に藥方、下段に太陽病から解説を記す。易老冲和湯・葛根解肌湯など仲景方以外も多い。跋なし。料紙は藁纖維の混じる中葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾、版心に葉次を寫す。每半葉、八行、上段・行六字、下段・行一四字、小字雙行。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引、墨筆の文字訂正あり。蟲損・破損なし。

傷寒の治療書で、附子を父子、桂枝を桂支と書く俗字が多い。一九世紀の筆寫だろう。

## 【婦人】

1690 (經治婦人小兒諸症總錄)

1757 (萬氏婦人科)

一冊四三葉、刊本、後補ベトナム四目鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二五・四×幅一五・三cm。帙なし。扉に四周單邊で「西昌裘琅玉聲氏／萬氏婦人科／阮堂藏板」の封面、序なく、目錄二葉（云、二卷本）。卷首に「■氏婦人科卷之一 西昌裘琅玉聲氏重刊」と題し、以下本文二卷の漢文書。跋なし。婦人科・産科（小兒科）の書。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、四周單邊、版心白口・内向き雙黒魚尾、象鼻に「婦人」、魚尾間に葉次を通して刻す。每半葉匡郭、縦二〇・一×横一三・四cm、一三行・行三〇字、小字雙行。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引きあり。いささか蟲損し（蟲孔大）、一部を補修。

萬氏は明の萬全（密齋）のこと。『萬氏女科』三卷などに基づきベトナムの阮堂が出版したもので、恐らく一九〜二〇世紀の所刊。

2054 (唐千頃著、大生要旨「一九三〇?、一八七〇?」)

一冊九五葉、刊本、後補ベトナム四目鍼眼装。原表紙脱落し、灰縁中手表紙で包み、書高二・七×幅一四・一cm。帙なし。外題なし。扉に左右雙邊で「凡有善士願印送者 不取板費/大生要旨/還劍湖玉山寺藏板」の封面。乾隆三七年の喬年光烈「大生要旨序」四葉、その末尾に「庚午年孟冬吉日敬刊」の刊記、目錄五葉(云、五卷本)。巻首に「大生要旨卷一/上海唐千頃桐園氏纂/男 兪鈞校字」と題し、以下本文は漢文で五卷。書末に「道光 年秋七月」の刊記。種子に始まり、胎前・臨盆・産後・保嬰で終わる産科書。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。無界、左右雙邊、版心白口・單黒魚尾、象鼻に「大生要旨」、魚尾下に「卷幾 篇名 葉次」を刻す。每半葉匡郭、縦一六・三×横一二・一cm、九行・行二〇字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に書き込み等なし。やや蟲損・破損。

清末・道光年間に上海の唐千頃が乾隆の原本から編纂した書で、ベトナムの玉山寺が恐らく一八七〇年に刊行した書。

### 【小兒】

9 (周雨邨著、活幼心法大全)

一冊九六葉、刊本、ベトナム四目鍼眼装に後補包背装。澁引き焦げ茶中手表紙に香色薄手表紙をかけ、書高二六・三×幅一五・

八cm。帙なし。外題なし。扉に左右雙邊で「清江聶久可先生著/東吳周雨邨編/活幼心法大全/痘疹驚風/各有方論詳載/廣城五雲樓梓行」の封面。康熙一五年の周雨邨「活幼心法大全序」五葉、目錄三葉。巻首に「活幼心法大全卷之二/明 清江聶尚恒著 清 江寧周 京輯」と題し、以下本文九卷、漢文の小兒科書。跋なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。有界と無界、四周單邊、版心白口・無(單・雙・三)黒魚尾、魚尾下に通卷葉次、一部下象鼻に「向山堂」を刻す。每半葉匡郭、縦一八・五×横一三・五cm、九行・行二〇字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込み多し。蟲損なく、僅かに破損。

本書は明・聶尚恒の著を清の周京(雨邨)が再版したもの。當本はそれに基づくベトナム向山堂版で、恐らく一九世紀の所刊。

383 (保胎神效全書解音「二八五」)

一冊一三葉、刊本(附寫本)、後補ベトナム包背四目鍼眼装。肌色の後補表紙の中に澁引き焦げ茶薄手表紙あつて、書高二四・九×幅一四・四cm。帙なし。外題なし。扉に四周單邊で「嗣德捌年(一八五五) 參月新刊/保胎神效全書解音/海上原本(海上/原本)の印記風」の封面。序・目錄なし。巻首に「保胎種子國音纂要」の内題、以下本文は漢喃文。跋なし。書末に成泰甲辰年(二九〇四)の識語あつて、夢で眼鏡三件を得、その一つを懸けると萬里が見える云々。多くは二段に分かれ、上段書に小字で處方を刻す。料紙は

薄葉ベトナム楮紙で、やや黄變する。有無界、四周單邊、版心白口・無魚尾、象鼻に「保胎」、中央に葉次を刻し、一部下象鼻は黒口。每半葉匡郭、全縦一九・五×横二一・七cm、八行・下段行一四字、上段の小字一六行・行六字。上記識語と同筆の寫本が後附され、やはり成泰甲辰年十一月の筆寫、料紙は中葉ベトナム楮紙。書頭に小兒門とのみ記す小兒科書。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引きあつて、書き込み等なし。蟲損なく、やや破損。

本書名は「保胎種子國音纂要」とするのが適切で、一八五五年の刊行。漢喃研究院にも同版がある。封面に「海上原本」と名うつので、黎有暉『海上懶翁』醫宗心領』の胎産部分を摘録した書だろう。

1780 (保胎神效全書解音 [二八五四])

1701 (小兒演歌)

1762 (治小兒諸症)

1901 (家傳活嬰秘書 [二八九〇?])

一冊、寫本、後補ベトナム四目鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二〇・九×幅一四・二cm。帙なし。外題なく、書根・天に「家傳活嬰」を墨書。茶色の扉に「庚寅年九月十七日／四民醫館／筆

賀」を墨書。序・目錄なく、卷首に「家傳活嬰秘書」の内題、以下本文は漢喃文。跋なし。小兒科書。料紙は中葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、一〇行・行二四字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損・破損なし。

古びからして、恐らく成泰二年庚寅（二八九〇）の筆寫だろう。

1908 (撮要治小兒)

### 【痘疹】

59 (若淑著、治疹痘各症)

328 (疹痘科)

1210 (疹痘國語歌)

1997 (經驗良方 [二八八四])

一冊、寫本。ベトナム包背の原裝から表紙が取れ、灰綠色中手表紙で表紙風に包む。書高二〇・〇×幅一三・三cm。帙なし。外題不詳、書根・天に「痘疹纂要」を墨書。封面の扉圖に「面部分五行八卦臟腑吉凶圖／痘科纂要全集／（小兒顔面圖）／建福元年（二八八



四「孟秋」を寫し、そのウラ以降五葉まで歌訣など。序・目錄なし。卷首に「醫海大成痘科纂要」の内題、以下本文は漢文。跋なし。料紙は上質中葉ベトナム楮紙で、かすかに黄變する。印刷した烏糸欄野紙に寫し、有界、四周單邊、無魚尾、白口、版心に葉次を寫す。每半葉、八行・行一九字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。また扉に四周單邊で「膏丹丸散 / 西山 / 醫林堂 / 祥峯 / 經驗良方」の朱印記（これは當本を舊藏していた薬店の印記で、カードはこの一部を書名に誤る）。全書に朱點・朱引あり。蟲損・破損なし。

本書名は「醫海大成」痘科纂要」が適切。本書が漢籍ならば、明・翟良（玉華）撰の同名書がある。また當本の底本とされた建福元年（一八四四）のベトナム刊本があったと分かる。筆寫は二〇世紀か。

2046 (痘中雜症)

2147 (種牛痘書)

閱覽請求するが、紛失とのことで閱覽不可。

### 【外科】

200 (瘡瘍經驗全書、卷八)

ベトナム國家圖書館の古醫籍書誌

320 (良醫家傳外科治癰疽門)

1896 (集驗癰疽)

1937 (薛己著、外科樞要大全)

一冊、寫本、元表紙（四目鍼眼裝）脱落し、灰綠色中表紙で表紙様に包む。書高二・七×幅一三・〇cm。帙なし。外題等不詳。刊本からの轉寫で、本文以前は模寫。扉に四周雙邊で「太醫古先賢院造原本 / 外科樞要大全 / 丁卯新寫 校正無訛」の封面、ウラに「崑嘉隆六年（一八〇七）歲丁卯冬月穀旦寫 / 板 / 新建安樂永姥寫」の刊記（筆寫）あり。序なく、目錄一二葉に東西南北の四卷を記す。卷首に「外科樞要卷之一（一） / 古吳薛 己著 / 後孝（學）周南校」と題し、以下本文は漢文で、卷二まで存。識語なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。無界、無邊、無魚尾、目錄のみ版心に葉次を寫す。每半葉、八行・行二二字および七行・行一九字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、訂正の書き込みあり。蟲損なし。

本書は宋の陳自明『外科精要』に明の薛己が校注を加えた系統だろう。當本は一八〇七年のベトナム版からの轉寫で、一九世紀の筆寫か。

## 【眼科】

74 (黎先生正傳痛目秘方)

485 (異傳眼科)

一冊、寫本、後補ベトナム四目鍼眼装。灰青色中手表紙、書高二八・五×幅一四・〇cm。帙なし。外題なし。序なく、目錄二葉は一間から六十八問を記す。卷首に「異傳眼科」の内題、以下本文は漢文で、眼科の總論・用藥・處方等を記し、最後が「七十二問答症治」で、本文も七十二問まで記される。跋なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、八行・行約二三字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損なく、疲れ本。

當書名は「異傳眼科」が適切で、清後期に各種出版された『異傳眼科七十二症』の系統だろう。一九世紀の筆寫か。

## 【全書】

18 (活世良法 [一九三二])

一冊(もと二冊を合冊) 存三卷、刊本、後補ベトナム四目鍼眼装。澁引き焦げ茶厚色手表紙、書高二五・八×幅一五・四cm。帙なし。外題なく、書根・天に「南藥上(集)」を墨書。扉に四周單邊

で「大南啓定七年(一九三二)八月吉日、幸遇良醫家有原板得新刻／南藥神效／西曆壹千玖百貳拾貳年 柳文堂公益藏板」の封面。序なく、封面ウラから「新刊南藥神效十科應治目錄」二葉半に卷之首「藥品南名氣味正治歌括」から卷一〇「外科」までを記し、卷一に聯續する。目錄に反して卷之首がなく、卷一首に「新刊南藥神效十科應治卷之一」の内題、以下本文は漢文で、喃字はどうも見えない。本書自體は全一一卷の醫學全書。料紙は薄葉ベトナム楮紙。有界、上下雙邊、版心白口・内向き雙魚尾、象鼻に「南藥神效」、魚尾間に「卷幾 葉次」を刻す。每半葉匡郭、縦二一・四×横一三・四cm、一一行・行二七字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損・破損ないが、糸切れ。

當本R18は一九二二年柳文堂公益藏板刊の『南藥神效十科應治』だった。すると一九三二年刊(?)『活世良法』の架藏番號をR18とするのはカードの誤記で、『活世良法』の番號はR12などかも知れない。

2198 (活世良法 上下)

寫本か。

354 (吳興錢著、經驗單方 [一九〇四])

一冊一〇四葉十三葉、寫本、後補ベトナム四目鍼眼装。ピンク色薄手表紙、書高二六・五×幅一六・三cm。帙なし。外題なし。康熙

丁亥年の錢峻「原(自)序」一葉、乾隆一七年の周朗鶴「附刊(單)方補遺序」一葉、乾隆一七年の踰(ママ、俞か)煥「自序」一葉、「丹(單)方彙編總目／吳興錢峻青掄原編輯／婺源俞煥園／金谿周朗鶴仙／全增補…」二葉、錢峻「凡例(云、單方彙編)」二葉。卷首に内題・編著者名なく、質藥辨眞假(「…諺云、賣藥者雙眸、用藥者雙眼、服藥者盲眼」といひ、面白い。以下は重要藥の良品鑑定)・諸症歌訣・單方(雜治)が二三葉まで。二四葉に「經驗單方彙編 婺源俞煥文光甫重梓／吳興錢峻青掄編輯…」と題し、以下本文は中風・風氣・虛勞・腫脹…獸蟲までで、漢文醫學全書。跋なし。さらに練仙藥文の漢喃文二葉あり。目錄からすると當本は卷一で、卷末の補遺雜治が書頭の單方(雜治)らしい。書頭の遊紙裏に青筆で「啓定拾年(一九二五)云々」、書末の遊紙表裏に朱筆で「保大貳年(一九二七)九月拾七日」の識語あり。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黃變する。無界、無邊、無魚尾、版心に「經驗單方 篇名 通し葉次」を寫す。每半葉、八行・行二九字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込みあり。蟲損なく、破損。

ベトナム書で、本文部分は一九世紀の筆寫か。當書の書誌記載は「經驗單方彙編、清康熙丁亥、錢峻撰。存卷一・一冊、寫本。越南・啓定拾年(一九二五)以前、據清・乾隆一七刊本寫」が適切。

1201 (裴叔貞著、衛生要旨卷一)、『1202 (同上、卷二)』、『1203 (同上、卷三)』  
1204 (同上、卷七)

ベトナム國家圖書館の古醫籍書誌

一冊、寫本、後補ベトナム四目鍼眼裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高一七・八×幅一四・六cm。帙なし。外題なし。目錄二葉。卷首に「衛生要旨卷之七 英川裴叔貞纂」と題し、以下本文は漢文で、當該卷は痘疹部分。書末に「治痘藥性摘要賦」三葉を附録。料紙は中葉ベトナム楮紙で、黃變なし。無界・無邊・無魚尾だが、升目狀に押し目罫あり(ベトナム本では初見)。版心に「篇名」を寫す。每半葉、九行・行字不定、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引きあり。蟲損なし。

架藏番號1203-08で一帙。醫學全書。類似書名では清・光緒一九年(一八九三)刊の鄭官應『中外衛生要旨』四卷本があるが、本書は著者名の特徴からもベトナム書で、二〇世紀の筆寫だろう。中に西村浩子氏の角筆調査紙を挿む。確かに角筆らしき跡があるが、眞柳には判別不能。

1965 (裴惟忠著、衛生要旨卷一)、『1966 (同上、卷二)』、『1967 (同上、卷三)』、『1968 (同上、卷四)』

四冊、寫本、後補ベトナム四目鍼眼裝。原表紙なく、灰綠色中手表紙で包み、書高二七・三×幅一六・〇cm。帙なし。外題なし。成泰庚寅年(一八九〇)の裴叔貞(云、八十老人)「自序」一葉あつて、醫學說疑一卷・會英醫門二八卷・初試使用三卷、そして衛生要旨八卷を著したという。目錄なし。卷首に「衛生要旨卷之壹」の内題、以下本文は漢文で、卷二・三および不詳卷各一冊を存する。跋・識語なし。總論および病門別の醫學全書。料紙は中葉ベトナム楮紙

で、一部黄變する。無界、無邊、無魚尾、版心に葉次を寫す。每半葉、一〇行・行二四字、小字雙行。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、書き込み多し。僅かに蟲損し、版心・糸切れする。

ベトナム書で、前掲本と同一。二〇世紀の筆寫だろう。カードは「裴惟忠著」に作るが、「裴叔貞著」が適切。

#### 1362-1370 (醫學入門)

八冊、刊本、ベトナム包背原裝。澁引き茶色厚手表紙、書高二六・二×幅一五・九cm。書根・頭・小口にも澁を塗る。帙なし。外題なく、書根・頭に「醫學卷之幾」を墨書。扉に四周單邊で「南豊李諱樾先生編註／醫學入門／河内成文堂梓行」、そのウラに「崑／嗣德十二年（一八五九）夏月吉日新鐫」の刊記。首卷は萬曆（ママ）乙亥年の李樾「醫學入門引」一葉、内集目錄三葉、集例三葉、先天圖一葉、天地人物氣候相應圖三葉、經穴撮要歌括四葉、用藥檢方總目二九葉、釋方・音字一〇葉、歷代醫學姓氏二五葉、原道統說三葉、陰陽三葉、保養・運氣等。卷首に「編註醫學入門内集卷之一」の内題、以下本文七卷。漢文書。跋なく、書末に「…時壬申仲春稿也／萬曆乙亥仲春初吉南豊邑東李樾謹書／門人族姪李 聰 校寫／門人…」および四周單邊で「是刻悉照原本校正錯誤、細加圈點、方症標／以柱圈、精工繕寫。展卷研求、豁然心目、／識者珍之。廣城書林福文堂」の木記。料紙は竹紙に似る薄葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。有界、四周雙邊、版心白口・黒魚尾、象鼻に「醫學入

門」、魚尾下に「卷之幾 篇名 葉次」、一部の下象鼻に「福文堂」を刻す。每半葉匡郭、縦一八・四×横一三・七cm、一〇行・行二二字、小字雙行・行二二字。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。一部に朱點・朱引き、『東醫寶鑑』内景篇卷一を引く書き入れあり。蟲損・破損なし。

本書は明・李樾の著で、朝鮮版・和刻版もある。當本は一八五九年の河内（ハノイ）成文堂刊本で、字體は後期清版の風。漢喃研究院藏本と同版。美本。

#### 1638 (費啓泰著、救偏瑣言)

2005 (救偏瑣言、卷一〜三「一八八一」、2006 (同卷四〜六)、2007 (同卷七〜一〇))

三冊、刊本、ベトナム包背原裝。澁引き焦げ茶中手表紙、書高二五・五×幅一五・二cm。帙なし。外題なく、書根・天に「救偏一二三(四五六、七八九十)」を墨書。扉に四周單邊で「吳興費建中先生著／救偏瑣言／雜症嗣出 福文堂原本」の封面、ウラに「龍飛辛巳 福文堂／崑嗣德三十四年（一八八二）秋月上浣新鐫／河内 錦文堂藏□(板)」の刊記。順治己亥年の費啓泰自序「救偏瑣言小跋」七葉、沈荃「費德封先生傳」三葉、「費德封先生像」・贊文計一葉、目錄五葉、「瑣言備用良法」一九葉。卷首に「救偏瑣言卷之一／吳興費啓泰建中父著 男 □文起／英孟育／□□□□／全訂」と題し、以下本文は漢文で、一〇卷。跋・識語なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。有界、四周單邊、版心白口・無魚尾、象

鼻に「救偏瓊言卷幾篇名 葉次」を刻す。每半葉匡郭、縦一七・八×横一三・四cm、九行・行二〇字。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。一部に朱點・朱引きあり、僅かに蟲損。

本書は清・費啓泰の著で、當本は一八八一年の河内（ハノイ）錦文堂藏板刊本。文字は僅かに扁平な明朝體だが、横線が完全に水平で、中國版にあまり見ない。

#### 1765 (壽世保元)

一冊、刊本、後補ベトナム包背裝。灰綠色厚手表紙（原表紙は澁引きの焦げ茶色）、書高二六・〇×幅一五・七cm。帙なし。原表紙の大破で外題等是不詳、書天に「壽世肆」を墨書。書根・天・小口に澁を塗る。序・目録は不存。卷首に「新刊醫林狀元壽世保元庚集七卷／太醫院吏目金谿雲林龔廷賢子才編／同邑後學周亮登元龍校」と題し、以下本文存卷七（婦人科）・八（小兒科）。漢文書。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、全體に黃變する。有界、左右雙邊、版心白口・單黑魚尾、象鼻に「壽世保元」、魚尾下に「庚（辛）集幾卷 篇名 葉次」、多くの下象鼻に「老會賢」を刻す。每半葉匡郭、縦一八・五×横一三・七cm、一三行・行二八字、小字雙行。四周雙邊に「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引きあるが、書き込み等なし。蟲損なく、卷八頭一〜二葉の版心部やや破損。本書は明・龔廷賢の著で、和刻版もある。當本は老會賢藏板のベトナム版で、字體は清末刊本に似る。恐らく一九世紀の所刊。

#### 【方集】

218 (六味加減法)

284 (楊氏醫方國語歌)

534 (樂生心得、經治國語歌)

692 (加減十三方)

1699 (中風門)

1702 (衛生新錄國音 [一九二七])

1932 (醫家 [醫書?] 演歌)

2086 (集驗良方)

閱覽請求するが、補修中で閱覽不可。

2089 (經濟神方廣錄)

2048 (羅溪先生著、澤園門傳醫書輯要)

2076・2077 (阮嘉璠著、療疫方法、卷一・卷二)  
 閲覧申請するも、発見できないので紛失だろうとのこと。あるいは架藏番號の記載かメモのミスか。

## 【本草・藥物】

140 (百症藥詩家傳)

125 (南藥神經)

169 (慧靖著、南藥神效、首卷・卷一〜三〔一九二二〕、192 (慧靖著、南藥神效、首卷)、1685・1740 (慧靖著、南藥神效、首卷〔一九二〇〕、1513・1846・1847〔一九二二〕(慧靖著、南藥神效、首卷)、1979 (慧靖著、南藥神效)

2117 (大南藥神效)

2040 (本國南藥品記)

221 (南天藥性賦)

1199・1679 (藥性賦)

1895 (直解指南性藥賦)

271 (藥品南名氣味正治歌括)

312 (藥文)

641 (増訂本草備要〔二八八三〕)

一冊、寫本、ベトナム四目鍼眼原裝。澁引艶出し焦げ茶厚手表紙、書高二五・五×幅二三・七cm。帙なし。外題なく、書根・頭に「備要」を墨書。見返しに「皇朝嗣德三十六年(二八八三)歲次癸未、この這卷照據舊本註□、其間多有／落舛、未能訂正。見者幸勿啞笑」の識語。序なく、卷毎に目録がある。卷首に「増訂本草備要」の内題、以下本文は「藥性總義」から始まる四卷。達筆な漢文書。跋なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。無界、無邊、無魚尾。每半葉、七行・行約二三〜二五字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。全書に朱點・朱引き、および朱墨の書き入れあり。蟲損なく、糸切れと表紙の破損甚。  
 本書は清・汪昂の著。書名に「増訂」を冠するので、底本は清版ないしベトナム版だろう。見返しの識語からしても一九世紀の筆寫は間違いない。當本の表紙は日本の栗皮表紙に酷似する。

【博物】

43・4 (鄧春榜著、南方名物備攷、上下 [二九〇二])

二冊、刊本、後補ベトナム包背裝。灰綠色厚手表紙の下に澁引き焦げ茶中手の原表紙、書高二五・四×幅一三・八cm。帙なし。外題なし。扉に四周雙邊で「成泰壬寅(二九〇二)新鑄/南方名物備攷/善亭定本」の封面、成泰辛丑年(二九〇一)の善亭鄧丈「南方名物備攷小引」一葉、目毎半葉。卷首に「南方名物備考卷之上」の内題、以下本文は漢喃文。卷上に天文・地理・歲時・身體・疾病・人事・人倫・人品・職制・飲食・服用・居處、卷下に宮室・舟車・器用・禮樂・兵刑・戸工・農桑・漁獵・巧藝・五穀・蔬菜・花・果・草木・竹・禽・獸・介・昆蟲を記す。跋なし。料紙は薄葉ベトナム楮紙で、一部黄變する。有界、四周雙邊、版心白口で内向き雙黒魚尾、象鼻に「南方名物備攷」、魚尾間に「上(下) 篇名 葉次」、下象鼻に「善亭定本」を刻す。毎半葉匡郭、縦一七・七×横一一・五cm、一〇行・行二二字、小字雙行・行二二字。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。書き込み等なし。一部に蟲損。

ベトナム書で、書誌記載は「越南・鄧春榜著、南方名物備考、二卷二冊、成泰壬寅年(二九〇二)善亭鄧丈刊本」が適切。

111・1434・1436 (合信著、博物新編卷一 [二八七七])

110・1437・1438 (合信著、博物新編卷二・三 [二九〇九])

ベトナム國家圖書館の古醫籍書誌

110・111による調査。二冊、刊本、後補ベトナム包背裝。灰綠色厚手表紙(原表紙は黄土色)、書高二六・七×幅一五・七cm。帙なし。外題なし。扉に四周雙邊で「維新己酉(二九〇九)孟夏/博物新編/觀文堂藏板」の封面、そのウラに「板權所/有不準/翻刻」の木記あり。嗣德三〇年(二八七七)年の河寧・陳仲恭「重鑄博物新編序」二葉、目錄一葉、圖二葉。卷首に「博物新編初集(二集・三集)/英國醫士合信著」と題し、以下本文三卷二冊。漢文書。跋なし。料紙は中葉ベトナム楮紙で、色變なし。無界、四周雙邊、版心白口・單黒魚尾、象鼻に「博物新編一(二)集」、魚尾下に葉次を刻す。毎半葉匡郭、縦一八・九×横一三・五cm、一〇行・行二四字、小字雙行。四周雙邊で「THU VIEN / QUOC GIA」の藏印記。一部に朱點・朱引あり。蟲損なし。

當本は一八七七年のハノイ版に基づく一九〇九年のベトナム觀文堂藏板刊本。本書には本來の清版の他に、和刻版・朝鮮版もある。

【分類未詳】

322 (滴嗽、筆花醫鏡)

325 (人身賦)

1556 (慧靖著、洪義覺斯醫書、下)

1752 (政征醫官家傳)

2087 (醫家詩策集)

2121 (醫家正宗捷效)

【叢編】

69・1077-80・1113-17・1173・1704 (海上懶翁)

本書の多くは、黎有暉の個人醫學叢書『海上懶翁』醫宗心領』全六五卷（二七七〇成）の分かれ本・抜粋本などだろう。

※本稿は文部科学省平成十五・十六年度科学研究費特定領域研究（2）「東アジアにおける医薬書の流通と相互影響」による。